

和泉高等学校生および保護者の皆様へ

2011年5月27日
和泉高等学校長 中原 徹

文武両道を目指せる環境作りに向けて

「文武両道」を掲げる学校は多数あり、本校もまた、生徒の皆さんが学業とクラブ活動等を両立させることは、バランスの取れた人格形成に資するのみならず、社会で活躍していただける準備を整える方法であると考えております。

この「文武両道」を言うのは簡単ですが、実現するのは容易ではありません。1日24時間を上手に使わなければなりません。学校において、我々教職員はそれぞれ自分が担当する教科やクラブに心血を注ぎますが、全体としてひとりの生徒にどのくらいの勉強・練習を課しているかという点の検証はおろそかになりがちです。生徒や保護者の方々からも「文武両道と言うのが本当にできる環境を作っているのか？」との疑問の声も頂戴しています（勿論上手に両立させている生徒の方々もおられます）。

今回、日々の家庭学習を必要とする5教科（国・数・英・社・理）の教員らに、各教科が各学年（1年生・2年生）にどの程度の予習・復習・宿題の時間を毎週要求しているかの調査をしました（これまでそういう調査が行われたことはありませんでした）ところ、5教科の合計で週末を含め1日4時間（平均的な生徒の処理速度で）に近い勉強時間を求めている結果が出ました。ハードな活動をするクラブはほぼ毎日活動をします（朝の練習も含め）ので、これでは十分な睡眠時間や家族・友人との時間を確保できず、高校生として健康的な生活を送ることが困難になります。

この結果を踏まえ、教職員らが何度も集まり、生徒が健康的な生活を送りつつ、クラブ活動にも力を入れつつ、入学時の学力を1,2年生の間維持し、3年次に一気にスパートをかける準備をするために必要な毎週の家庭学習時間を検討しました。その結果が、添付の表です。例えば、1年生の週当たりの家庭学習時間は12.3時間ですから、この時間を毎週各人のペースに合わせて家庭学習時間に充てていただくことは十分可能であると思われます。勿論、この時間数はあくまでも目安であり、各人の習熟度や学習スタイルによっても変動しますし、学力の現状維持のための数字ですので、学力を伸ばしたい人はもっと家庭学習が必要になります。また、添付の表には3年生が含まれていませんが、3年生は各人の進路によって学習の内容が大きく分かれますし、全力で進路実現に向けて動くべき学年ですので、こうした数字を出す意味に乏しいと判断し含めていません。

教職員一同、引き続きより中身の濃い、効率的でバランスのよい授業およびクラブ活動に向けての努力を続けて参りますので、是非ご家庭での学習も充実させていただければ幸いです。

教科別家庭学習時間

	教科	科目	単位	1週間で必要な家庭学習時間 (時間)					備考
				予習	復習	宿題	その他	合計	
1 年	国語	国語総合	5		0.5	2		2.5	
	社会	現代社会	2		1			1	
	数学	数学 I	3		1.5			1.5	
		数学A	2		1			1	
		数学合計						2.5	
	理科	化学 I	3		1.3			1.3	
	英語	英語 I	3		3			3	
		英文法	2	1.5	0.5			2	
		英語合計						5	
	1年合計								12.3
2 年	国語	現代文	2			1		1	
		古典	3		0.5	1		1.5	
		国語合計						2.5	
	社会	世界史A	3		1.5			1.5	
		日本史A	2		1			1	選択者のみ
		地理A	2		1			1	選択者のみ
		社会合計						2.5	
	数学	数学 II	3		1.5			1.5	
		数学B	3		1.5			1.5	
		数学合計						3	
	理科	理科総合A	2		1			1	
		理科総合B	3		0.7			0.7	理科総合B選択者は、理科総合Bのみ
		物理 I	3		1.3			1.3	理科総合Aと合計
		生物 I	3		0.7			0.7	理科総合Aと合計
		理科合計(物理/生物/英語超人)						2.3/1.7/0.7	
	英語	英語 II	3	2	0.5	0.5		3	
		ライティング	2	1	0.5	0.5		2	
英語超人		2	*	*	*		*	選択者のみ	
英語合計(一般/英語超人)						5/5+*			
2年生合計(物理/生物/英語超人)								15.3/14.7/13.7+*	

* 英語超人は学力の現状維持を超える学力の伸長を図る授業であり、今回の時間提示になじまないため数値を表示していません